



2021. 10. 29

のびるほどっ子!

もっと ほっと ずっと

横浜市立保土ヶ谷小学校

創立150周年に向けて

副校長 内田 宏

緊急事態宣言が解除され、通常登校が再開して一か月が過ぎようとしています。学校生活は、日常に戻ったように感じることもあります。しかし、一方で今後の新型コロナウイルスの感染状況がどうなっていくのか明確な見通しが立たないことから、第6波に緊張感と危機意識をもって備える必要があるとの声も聞こえてきます。子どもたちは通常登校再開後も、マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・換気や消毒等の対策をとりながら学校生活を送っています。宿泊・遠足・各種見学といった校外学習についても、コロナ禍であることを踏まえて実施計画を立案しています。今月は6年生の修学旅行を2日(火)3日(水)に実施予定です。新型コロナウイルス感染予防の観点から消毒体制の確立・食事や宿泊の仕方・見学について、学校として可能な限りの感染予防対策をとり、子どもたちの健康と安全をしっかりと守りながら実施していきたいと思っています。

さて、本校は来年度、創立150年を迎えます。明治5年に学制が制定され、その翌年に開校しました。全国的に見ても150年の歴史を有する小学校は数少ないです。本来ならば「保土ヶ谷小学校150周年記念行事」を盛大に執り行いたいところですが、新型コロナウイルス感染症が終息したという状況には至らず、コロナ禍での開催を想定しての実施とせざるを得ません。150周年に向け学校では、年度当初に本校学校懇話会委員の皆様、150周年実行委員会をお願いいたしました。また、実行委員長は 田島海静 様(立正幼稚園長・元PTA会長)に引き受けていただきました。副委員長は、近藤久満 様(学校懇話会長・学援隊長) 武富裕子 様(放課後キッズ主任・元PTA会長・岩間地区主任児童委員)をお願いをいたしました。緊急事態宣言が明けた10月8日(金)には、150周年実行委員会委員長・副委員長・会計の皆様にお集まりいただき、「保土ヶ谷小学校150周年記念行事」の原案を作成いたしました。その後、150周年実行委員会を书面開催にて行い、「150周年記念行事」についてご承認をいただいたところです。

コロナ禍での準備、そしてコロナ禍を想定しての周年行事となります。子どもたちのために今できる最大限のことを考え、職員一同力を合わせ、子どもたちに生きて働く力を育むべく全力を尽くして参ります。また、地域の学校として保土ヶ谷のまちに育んでいただきながら150年を迎えます。子どもたちにとって、保護者の皆様、地域の皆様にとって心温まる周年行事を創り上げていきたいと考えております。何卒お力添え賜りますようお願い申し上げます。

【保土ヶ谷小学校創立150周年記念事業実行委員会】

- 委員長 田島海静 様(元PTA会長・立正幼稚園長) ○副委員長 近藤久満 様(懇話会長・学援隊長)
- 副委員長 武富裕子 様(放課後キッズクラブ主任・岩間地区主任児童委員・元PTA会長)
- 会計 荒木亜紀 様(PTA会長) ○杉澤勝廣 様(神戸町東部町内会長) ○田村眞佐子 様(月見台東部自治会長)
- 荻部武 様(岩間町副会長) ○岡本睦良 様(前地域防災拠点委員長) ○稲葉雅彦 様(岩崎中学校長)
- 宮司弘昭 様(西久保町東部町内会長) ○西徹男 様(帷子1丁目町内会長) ○松元博志 様(横浜市立小学校元校長)
- 芹澤舞子 様(神戸保育園長) ○小川克之(校長) ○会計 内田宏(副校長) ○事務局長 内和俊 (教務主任)